

2021年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科 俳優コース											
アクションⅢ											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	井上謙一郎			実務経験	有	職種	殺陣師				
授業概要											
この授業では、個人、パートナー、そしてグループでの作業を行います。与えられた課題にたいしてまずは個人で理解して実演、次に対戦パートナーとの実演で技術の正確性や理解度の確認、グループ作業ではメンバーによる客観的な意見を参考にしてそれぞれの個性や技術を活かしあいながら作品作り（ビデオカメラを使用）に取り組み、最後にそれぞれが感じたことコメントしていく。この授業で学んだこと（インプット）を学生自身が身体を使って表現し、意志や意見を伝えていくこと（アウトプット）を目指します。											
到達目標											
この科目では、学生が、殺陣（以降、アクション含む）の本質である（相手との）間合いや呼吸を理解すること、殺陣の危険性について理解すること、課題の殺陣を安全に表現出来ること、また課題の殺陣を的確かつ迫力あるよう観ている側に伝えること、学生たち自身で殺陣場面の演出・振付・実演できること、時代劇では台本に描かれている時代背景を読み解き所作や殺陣を使って表現できることを目標にしている。											
授業方法											
殺陣やアクションの基本技術や時代劇に必要な知識や所作を自身の身体を使って学ぶ。また授業内で実施した技を撮影し、映像で確認する											
成績評価方法											
成果発表 小発表会 平常点	50% 20% 30%	期末に行う実技発表会、内容について評価する 授業内容の理解度を確認するために実施する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員とのコミュニケーションを重視します。 授業中の私語や受講態度、及び殺陣に伴う危険行為などには厳しく対応、理由のない遅刻や欠席、また実技の授業である故に許可のない見学も認めない（授業中の急な体調不良を除く）。授業時数の4分の3以上出席しない者は受講態度や実技の評価をすることができない。											
教科書教材											
特になし											
回数	授業計画										
第1回	アクションの実践 基本の確認、台本（1場面）を使用して作品を作る										
第2回	アクションの実践 基本の確認、前回の反省点を活かして修正し作品を作る										
第3回	アクションの実践 基本の確認、より掘り下げて工夫し作品を作る										
第4回	アクションの実践 基本の確認、自分たちで演出・振付して作品を作る										
第5回	アクションの実践 基本の確認、自分たちで演出・振付して作品を作る										
第6回	アクションの実践 基本の確認、自分たちで演出・振付して作品を作る										

2021年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科 俳優コース	
アクションⅢ	
第7回	アクションの実践 基本の確認、前回の反省を踏まえて作品を完成させる
第8回	殺陣の実践 基本の確認、台本を使用して作品のデッサンを作る
第9回	殺陣の実践 基本の確認、台本に描かれた時代背景を理解し所作も使って表現する
第10回	殺陣の実践 基本の確認、振付を早く覚え、手順や導線を理解しながら作品を作る
第11回	殺陣の実践 基本の確認、振付を早く覚え、手順や導線を理解しながら作品を作る
第12回	殺陣の実践 基本の確認、振付の変更や追加による間合いの変化に対応することが出来る
第13回	殺陣の実践 基本の確認、カメラのサイズを把握しながら表現することが出来る
第14回	殺陣の実践 基本の確認、カメラワークを意識して動くことが出来る
第15回	殺陣の実践 基本の確認、これまでの課題をより掘り下げて作品を作る
第16回	殺陣の実践 基本の確認、これまでの課題をより掘り下げて作品を作る
第17回	殺陣の実践 基本の確認、作り上げた作品に自分たちの個性（工夫）を取り入れる
第18回	殺陣の実践 基本の確認、前回は修正した作品を仕上げていく
第19回	殺陣の実践 基本の確認、これまで作り上げた作品の発表会
第20回	まとめ